

住者ってどんなひと？
南相馬の
カッコいい

おとな手帖



福島市 → 南相馬市

おとな手帖

No.12

心のままに歩んだ先で

「言葉」を使い地域の人々を繋ぎたい



今回のかわいい大人

に っ た ま ゆ こ

新田 真由子さん(44)

岐阜県中津川市生まれ

お仕事 地域コーディネーター

移住歴 2019年～

18 歳

進学のため愛知県
豊田市へ移住

32 歳

東日本大震災後、
東京都へ移住

36 歳

福島市へ移住。
地域コーディネー
ターとして
福島大学に勤務

40 歳

フリーになり、
南相馬市へ移住





学生と一緒に現地の方のお話を聴く。



地域を案内したみなさんと一緒に記念撮影。



Q1. 仕事で大切にしていることは何ですか？

A. 何か伝えるとなるといつも緊張していたのですが、写真を使って伝えるのは楽しい、自分の中にあるものを伝えたいと思うようになったんです。大学職員などを経て、今は福島を訪れる人たちの現地コーディネートや、地域を言葉で表現する仕事や講座をしています。私が大好きなものを紹介し、同時に課題も見ってもらうことで、地域を身近に感じてもらいながら、自分ごととして課題を捉えてほしいです。今は県外の仕事が多いですが、今後は南相馬での関わりを深め、「伝えること」を通して南相馬の人たちに恩返しをしていきたいです。私が伝えることだけで地域を100%知れるわけではありません。それでも、自分が感じた南相馬、福島を表現し、人と人を繋げていくことで、いろんな視点で地域を感じてもらうきっかけをつくるのが大切だと思っています。

& A 聞いてみた!



Q2. 移住先としての南相馬市について教えてください。

A. 南相馬市は過ごしやすい気候だと思います。夏は風が涼しいし、冬は寒いけど天気がいいです。ただ、岐阜県出身なので雪が降らないのは少し寂しいですね。自然や田舎が好きですが、たまに東京へ行くのも文化的な違いが見られていいリフレッシュになります。私は、一度故郷と違う地域で暮らすのはいいことだと思います。地元で過ごした時間や、これまでの経験は、移住先でも自分の力になると考えています。

南相馬は復興の面で何が足りないかを探しがちですが、私は何でもあると思いますし、そう思える目線も必要です。移住は重い決断というイメージがあると思いますが、引っ越しくらい気軽でいい。経験を活かして仕事は自分でつくることもできるし、オンライン化が進みどこでもできるようになりました。場所を変えて、興味を持った場所に住むのもオススメです。



わたしが記事にしました!



おおい もとは

大井 紀葉

原町高校 1 年

編集後記



例え地元じゃなくても、こんなにも南相馬を想ってくれる人がいることを嬉しく思いました。自分の好きな人やものを素直に「大好き」と言える新田さんは素敵です。大事な考え方をたくさん聞けたので、これからは意識して南相馬にもっと関わってみたいです。



(新田さんの暮らし・仕事について)
さらに詳しく!
(Web サイトの記事はこちら→)



My favorite Minamisoma
南相馬のお気に入り

大悲山
Daihisa

天然記念物の
大杉は圧巻！



南相馬市小高区にある大悲山にはすごく歴史があり、震災後も避難先から地域の方が掃除や保全のために通っていたそうです。地域の方々に守られている話を聞いて、とても感動しました。特に福島県の天然記念物にも指定されている大杉は圧巻で見飽きないですし、阿弥陀堂石仏に続く道の木漏れ日がきれいで、南相馬に友達が訪れた際には連れて行く、大好きな場所の一つです。

移住者ってどんなひと？
南相馬の
カッコいい
おとな手帖 って？

南相馬市には他地域から移住し、自分らしくかっこよく働くおとなたちがたくさん暮らしています。

彼らが「今、ここにいる理由」はさまざま。夢を叶えるため、誰かと共に生きるため……。それぞれの物語を紐解いていくと、多様な南相馬の魅力に気づきます。

「移住者」に会いに行くのは、南相馬市で育った高校生たち。自分たちには当たり前な環境も、移住者のみなさんの視点を借りると、なんだか違って見えてくる！

Publisher：南相馬市役所 移住定住課

Direction：marutt Inc.

Editor：小野民、高橋慶香、藤木千尋、大井紀葉

Designer：高木市之助

Photographer：鈴木宇宙、鈴木穰蔵

南相馬で自分らしい暮らしを
実践している先輩移住者がたくさん！

南相馬市 移住者インタビュー Webサイトはこちら→

